

間もなく4月。新入学に就職、引
越しなど、多くの人が期待と不安
を胸に新生活を始める季節です。
交通ルールに慣れていない新1年
生や新人ドライバーが交通社会にデ
ビューする季節でもあります。
いつもと同じ道路を同じ時間に通
っても、混雑することもしばしば。
気分がそわそわしていると注意がお
ろそかになるため、慣れた道こそ注
意が必要です。

交通デビュー

今回の特集は「交通デビュー」。
交通デビューする立場から、新入学
を前にした幼稚園の年長さんと自動
車学校に通う高校生の声を。また、
デビューする人を守る立場から、自
動車学校と幼児交通教室の指導員の
想いを伝えます。

この時期に、歩行者の方もドライ
バーの方も、あらためて自分のこと
として交通安全、考えてみませんか。

問 生活環境課（内線172）





伊藤清美さん(交通指導員)
教室で、犬のぬいぐるみを乗せた自動車シート模型を壁にぶつける実験を見せ、シートベルトは命を守る大切なベルトだという話をします。私たち大人が良いお手本になり、全席シートベルトの着用をお願いします。

幼児交通教室 ぞうさんクラブ



ぞうさんクラブは、就学前の園児が交通ルールを身に付けるための教室です。交通指導員3人が、保育園・幼稚園・こども園で交通安全教育や交通指導を行っています。

園児たちの一番のお手本は、保護者の皆さんです。お子さんがひとりで行動するとき、覚えた交通ルールを実践し、交通事故に遭わないため、常に良いお手本になるよう心掛けてほしいです。



山田保子さん(交通指導員)



交通指導員になり、子どもたちが交通ルールや命の大切さをぞうさんクラブで学んでいることを知りました。教室では、園児が目で見分ける教材や分かりやすい言葉遣いを意識して指導するようにしています。

高山 望さん(交通指導員)



多治見警察署 交通第一課 加藤伸也さん

4～5月は、登下校に不慣れな新1年生や初心者ドライバーが交通デビューをします。当たり前のことですが、ドライバーの皆さんは、子どもを見掛けただけで速度を落とす、初心者マークの車との車間距離をとるなど十分注意して、思いやりの気持ちを持って運転してください。

指導する人



横井文洋さん
(多治見自動車学校 教頭)

自動車学校では教習生の運転を、道路交通では一般のドライバーの運転を。これまでさまざまな人の運転を見てきた自動車学校の指導員が考える、安全運転の心構えとは。

指導ではどんなことを心掛けていますか？

教習生が話を聞きやすいよう、雰囲気づくりを大切にしています。緊張して伝わらなければ意味がありませんからね。教習も免許を取るためのものではなく、例えば左折時に左に寄せるのは「なぜ」なのか、道路交通でも自分で理解して運転できるよう、理由と合わせて指導しています。

最近の道路マナーの印象は？

自動車の性能が上がり簡単にスピードが出るようになりました。あおり運転の問題のように、運転していると後ろの車が気になることもあります。人の運転をいろいろ見てみると、例えば車間距離など、「親の運転」の影響をうかがわせるものがあり、親の責任は重要だと思います。先輩ドライバーも良いお手本になってほしいです。名古屋走りと呼ばれる合図無く車線変更する運転など、新人ドライバーは周りの運転に染まってしまうから。

教習生にはどんなドライバーになってほしいですか？

教習生はみんな優しい運転をします。教えなくても譲り合いができますし、運転中に怒ることもありません。ずっと初心を、そして優しい心を忘れずに運転してほしいです。



はやて
加藤 颯さん
(土岐商業高校3年)

ゆせい
野村 憂星さん
(土岐商業高校3年)

デビューする人

はやかわ ゆいとくん
(駄知幼稚園年長さん)



かつ ゆずなちゃん
(駄知幼稚園年長さん)

これからドライバーになる2人。初めての路上教習は「怖かった」、「緊張した」と言います。運転して感じたこと、歩行者としての目線。今、両方の感覚を持つ2人に話を聞きました。

歩行者目線でどんな運転が「危ない」と思いましたか？

加藤 信号のない横断歩道で停止しなかったり、渡っている途中で割り込まれた時は危ないと思いました。教習では横断歩道の近くに人がいたら、「もしかしたら渡るかも」と減速することを教えられています。

野村 一方通行を無視して進入する車は怖いと思いました。踏切で一時停止せず徐行で通過する運転も危険です。大人の運転を見てどんなことを思いますか？

加藤 路上教習中、狭い道で無理やり追い越されることがあります。教習車と分かると思うので優しくしてほしいです。

野村 テレビを見てみると、反則をして文句を言うドライバーがいますが、ルールを守るのが当たり前だと思います。

どんなドライバーになりたいですか？

加藤 大人になると多くの人が運転をしますが、自己中心的な運転は危険だし、周りに迷惑を掛けます。相手を優先できるドライバーになりたいです。

野村 車は鉄のかたまり。正しく乗らないと凶器になります。歩行者や自転車優先する、思いやりを大切にすると運転をしたいと思います。

入学を前に、駄知幼稚園の年長さんが交通ルールのおさらいをしました。子どもたちは、道路の安全な歩き方や横断歩道の渡り方、チャイルドシートの大切さをしっかり覚え、横断テストも全員合格。交通安全教室「ぞうさんクラブ」を卒業しました。



道路を歩くときは、分団のおねえさんの話をよく聞いて、白線から出ないように気をつけています。ぞうさんクラブでは、横断歩道の渡り方を覚えて、小学校に行ったら芝ふ広場でいっぱい走ってあそぶのが楽しみです。

道路は、白い線からはみ出ないように歩いています。今日の横断歩道を渡る前にピタッととまることに気をつけて、じょうずに渡れました。小学生になったら、鉄ぼうでれんぞくさかあがりがいっぱいできるようにれんしゅうしたいです。



やくそくもって
げんきいっぱい
しょうがくせいになります